

➤マテリアリティに関する目標と進捗

マテリアリティ	課題	施策	目指す姿	達成年度	進捗		
					2022年度結果	2023年度結果	2024年度結果
たんぱく質の安定調達・供給	畜肉の安定調達・供給	畜肉の安定した供給量の拡大 疾病発生未然防止への継続的取り組み					
	持続可能な畜産の実現	農家への支援・共創 —PIG LABO®、鶏生産事業における技術指導 —スマート畜産などの新たな技術の開発と活用	国内産畜肉の販売数量伸長率 2023年度比 104%	2026年度	2024年度新設	2024年度新設	103%
食を通じた豊かな生活への貢献	多様化するライフスタイルや価値観への対応	多様なニーズに合わせた商品の開発、提供	ハムソーセージ、加工食品の主要コンシューマー商品のうち、Mealin' Good対象製品を50%	2026年度	2024年度新設	2024年度新設	19.5%
		笑顔あふれる食体験の提供 日本で培った知見を各国・地域に浸透					
	食課題解決への貢献	健やかなからだづくりに貢献する商品の開発、提供	海外加工品事業売上伸長率 2023年度比 200%	2026年度	2024年度新設	2024年度新設	112.8%
持続可能な地球環境への貢献	気候変動への対応	化石燃料由来CO ₂ 削減(Scope1、Scope2)	国内 2013年度比 29%削減	2026年度	18.7%減	21.3%減	24.1%減
			国内 2013年度比 46%削減	2030年度			
		海外 2021年度比 17%削減	2026年度	2.0%減	8.4%減	5.7%減	
		海外 2021年度比 24%削減	2030年度				
		家畜由来GHGの抑制、削減、有効活用に関する研究開発	-	-	大学との共同で研究実施	大学との共同で研究実施	共同研究推進 ・牛メタンガス(北海道大学) ・豚メタンガス(徳島大学)
省資源の推進	プラスチック使用量削減 ※対象範囲:容器包装リサイクル法対象商品のうち、化石燃料由来の包装資材	国内 2013年度比 17%削減	2026年度	2024年度新設	2024年度新設	34.2%減	
	国内 2013年度比 20%削減	2030年度					
新たな価値の創出	食とスポーツによる新たな価値の提供	北海道ボールパークFビレッジにおける、食品事業とスポーツ事業を核とした街づくりへの取り組み	Fビレッジ内の施設・サービスの充実による来場者数及び定住人口の増加 ※来場者数:1月~12月で計算 ※定住人口:2030年度北広島市(2023年10月比)	2030年度	2024年度新設	2024年度新設	来場者数 約419万人
	たんぱく質の可能性を広げる事業の創造	R&D強化による価値創造	事業立ち上げと収益化	2030年度	2024年度新設	2024年度新設	事業戦略と紐づいた全社R&D戦略を策定
		さまざまなたんぱく質の可能性の探索	商品化に向けての技術確立		2030年度	2024年度新設	2024年度新設
挑戦する組織風土の醸成	変革型経営人材の育成、獲得	役員評価項目を見直し、経営者サクセッションプランの強化	変革、挑戦、従業員エンゲージメントの取り組み進捗	2030年度			1. 戦略的な採用・選抜・育成 ・母集団形成 ・選抜・育成の仕組み強化
	多様な人材の活躍推進	一人ひとりの挑戦を促し認める仕組みの強化、浸透 多様な個が尊重され、生き生きと活躍できる環境づくり	重点管理項目の進捗	2030年度	2024年度新設	2024年度新設	2. 個の成長促進 ・成果に応じた適正評価・処遇 ・キャリア自律・キャリア充実 ・海外人事制度の一部改定